

全国どこでも誰もが 便利で快適に 暮らせる社会を目指して



現在、地方は、人口減少や少子高齢化、産業空洞化など様々な社会課題に直面しています。

デジタルは、こうした社会課題を解決するための鍵であり、新しい付加価値を生み出す源泉です。

デジタル田園都市国家構想は、デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力の向上を図ります。

そして、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指します。

デジタル田園都市国家構想 令和5年12月26日閣議決定 総合戦略(2023改訂版)の全体像



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

総合戦略(2027年度までの5か年計画)の基本的考え方

「全国どこでも誰もが
便利で快適に
暮らせる社会」を
目指す。



デジタルの力を活用して
地方創生を加速化・深化し、
各地域の優良事例の
横展開を加速化する。



これまでの地方創生の
取組についても、
改善を加えながら
推進する。



「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から、従来の3交付金を「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想実現に向けて分野横断的に支援します



地方創生推進タイプ

- 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援。
 - 地方版総合戦略に位置付けられた地方公共団体の自主的・主体的な取組を支援（最長5年間）
 - 東京圏からのUIターン促進及び地方の担い手不足対策
 - 省庁の所管を超える2種類以上の施設（道・污水处理施設・港）の一体的な整備

東員町の地方創生

「みらいを育む町」イメージアップ計画

目的

子ども達の「みらいを育む町」としてイメージを定着させ人口増加を図る。

第1

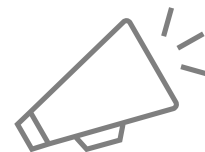
町民が自分たちの町に誇りを持ち、いつまでも住み続けることやUターンの増加を目指す。

第2

町外の方に東員町を広く知ってもらい交流人口、関係人口、転入の増加を目指す。

2つの
課題

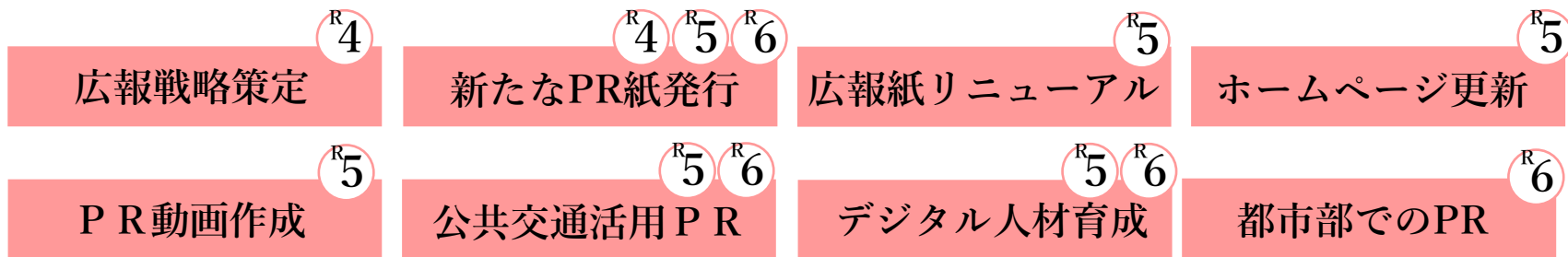
「発信力の弱さ」
「発信資源の弱さ」



「発信力の弱さ」

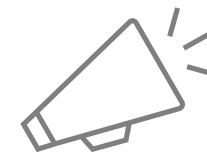
- 魅力発信の統一的なコンセプトが必要。
子ども達の「みらいを育む」ために実施している事業が多く、これを魅力発信のコンセプトとして位置づける必要がある。
- 子育て世代などの転入が多く今がチャンス。若い世代の目に止まるような、さらに一步踏み込んだ魅力発信が必要。

戦略なき町の発信。新境地へ踏み込めていない。



2つの
課題

「発信力の弱さ」 「発信資源の弱さ」



「発信資源の弱さ」

■本町の代表的な文化やスポーツなどの発信資源自体も発展途上。まずは資源の磨き上げを行い、住民の参加率向上を進め、町への誇りを高めていく必要がある。

■本町の発信資源を官民一体で磨き上げを行う体制がなく、相乗効果や稼ぐ力が発揮できていない。

発信資源自体の磨き上げが必要。



記念文化事業

R4

バスケットゴール整備

R4

観光計画策定

R5

文化芸術基本計画策定

R5

観光協議体運営

R6

まちづくりビジョン

R6

実施事業
と金額

「発信力の弱さ」対策事業

<p>^{R4}</p> <p>広報戦略策定</p> <p>8,000千円</p> <ul style="list-style-type: none">■住民アンケートの実施、分析費用 1,100千円■広報戦略策定費用 6,900千円	<p>^{R4} ^{R5} ^{R6}</p> <p>新たなPR紙発行</p> <p>36,000千円 (12,000千円×3年)</p> <ul style="list-style-type: none">■グッドニュース新聞■おみごと！PRESS	<p>^{R5}</p> <p>広報紙リニューアル</p> <p>3,000千円</p> <ul style="list-style-type: none">■広報紙作成指導費用 3,000千円	<p>^{R5}</p> <p>ホームページ制作・更新</p> <p>20,000千円</p> <ul style="list-style-type: none">■町HPリニューアル費用 10,000千円(R5)■協議体のHP制作費 10,000千円(R5)
<p>^{R5}</p> <p>PR動画作成</p> <p>5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none">■PR動画作成費用 5,000千円	<p>^{R5} ^{R6}</p> <p>公共交通活用PR</p> <p>12,000千円</p> <ul style="list-style-type: none">■バスラッピング費用 3,000千円(R5) 6,000千円(R6)■デジタルサイネージ 広告掲載費用 1,000千円(R5) 2,000千円(R6)	<p>^{R5} ^{R6}</p> <p>デジタル人材育成</p> <p>6,500千円</p> <ul style="list-style-type: none">■SNS伴走支援費用 1,000千円(R5) 1,500千円(R6)■中小企業デジタル デバイス活用伴走 支援費用 4,000千円(R5)	<p>^{R6}</p> <p>都市部でのPR</p> <p>1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none">■国や県の実施する 都市部のイベント に出展料 1,000千円

実施事業
と金額

「発信資源の弱さ」 対策事業

記念文化事業 ^{R4}

1,300千円

■第25回こども歌舞伎
記念公演の著名人招聘
費用 1,300千円

バスケットゴール整備 ^{R4}

9,845千円

■バスケットゴール設置費
9,845千円

ハード
事業

観光計画策定 ^{R5}

8,000千円

■住民アンケートの実
施、分析費用
3,000千円

■観光計画策定費用
5,000千円

文化芸術基本計画策定 ^{R5}

5,000千円

■東員町文化芸術基本
計画策定費用
5,000千円

観光協議体運営 ^{R6}

9,000千円

■観光情報誌制作費
3,000千円
■マーケティング調査費
5,000千円
■観光計画推進協議会会
議開催費用
1,000千円

まちづくり長期
ビジョン策定業務 ^{R6}

5,000千円

■まちづくりビジョン
策定委託費
5,000千円

R 4 年度実施事業 (30,614千円)

● 広報戦略策定事業 7,975千円

- ・ 広報戦略策定費用 3,675千円
- ・ パンフレット、ポスター作製費用 4,300千円

● 新たな P R 紙発行事業 11,880千円

- ・ グッドニュース新聞作成配布の費用 11,880千円

● 記念文化行事事業 914千円

- ・ 第25回こども歌舞伎記念公演の著名人招聘費用 914千円

● バスケットゴール整備事業 9,845千円

- ・ Bリーグ規格に対応したバスケットゴール1対(2台)を購入 9,845千円

R 5 年度実施事業 (47,834千円)

- 観光計画策定事業 7,700千円
- ホームページ制作・更新事業 10,901千円
 - ・観光協議会ホームページ制作、町HPリニューアル 10,901千円
- 文化芸術基本計画策定事業 4,400千円
- 東員町PR動画作成事業 4,950千円
- 新たなPR紙発行事業 8,985千円
 - ・おみごと！PRESS作成配布の費用 11,880千円
- 広報紙リニューアル事業 2,915千円
- デジタル人材育成事業 4,950千円
 - ・副業人材を利用した町公式SNSや町内事業者のデジタルデバイス活用支援
- 公共交通機関を利用したPR活動 3,033千円
 - ・町PRデザインにラッピングした高速バスの運行
 - ・JR名古屋駅、近鉄駅の大型ビジョンで町PR動画を放映

「みらいを育む町」イメージアップ計画KPI

●定住者アンケートで「子育て支援に魅力を感じた」を選択する方の割合

・初期値 (R 3) 0%  最終目標値 (R 8) 60%

●こども歌舞伎、ミュージカルの観客動員数

・初期値 (R 3) 798人  最終目標値 (R 8) 1,598人

●Bリーグ公式戦の1試合平均観客数

・初期値 (R 3) 0人  最終目標値 (R 8) 300人

●町ホームページ総アクセス数

・初期値 (R 3) 3,839,043件  最終目標値 (R 8) 4,839,043件

推進
 交付金

「未来を育む町」イメージアップ計画KPI

●定住者アンケートで「子育て支援に魅力を感じた」を選択する方の割合

初期値 (R 3) 0%	(R 5 実績) 45.5%	最終目標値 (R 8) 60%
--------------	----------------	-----------------

●こども歌舞伎、ミュージカルの観客動員数

初期値 (R 3) 798人	(R 5 実績) 1,678人	最終目標値 (R 8) 1,598人
----------------	-----------------	--------------------

●Bリーグ公式戦の1試合平均観客数

初期値 (R 3) 0人	(R 5 実績) 569人	最終目標値 (R 8) 300人
--------------	---------------	------------------

●町ホームページ総アクセス数

初期値 (R 3) 3,839,043件	(R 5 実績) 5,600,605件	最終目標値 (R 8) 4,839,043件
-------------------------	------------------------	---------------------------

「デジタル田園都市国家構想」の実現による地方の社会課題解決や魅力向上の取組を深化・加速化する観点から、従来の3交付金を「デジタル田園都市国家構想交付金」として位置付け、構想実現に向けて分野横断的に支援します



デジタル実装タイプ

- ▶ デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援。

書かない窓口



地域アプリ



遠隔医療



東員町デジタル化推進計画

～人に優しいデジタル化～

2023年 1月



第1章 計画の概要

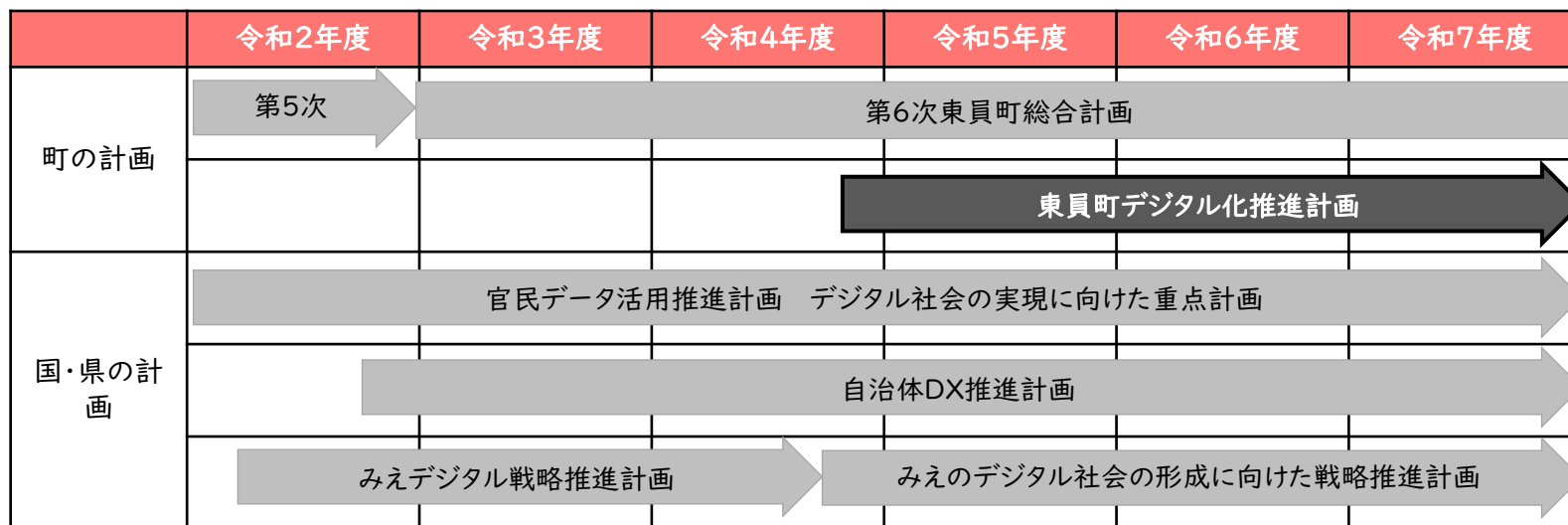
2. 計画の位置付け

本計画は、「第6次東員町総合計画」の個別計画に位置づけられるもので、「官民データ活用推進基本法（平成28年法律第103号）」第9条第3項に規定される「市町村官民データ活用推進計画」としても位置づけます。

また、国が定める「自治体DX推進計画」に示されている重点取り組み事項などに対する町の基本方針などを定めるものです。

3. 計画期間

本計画の計画期間は、令和4年度から令和7年度までの4年間としますが、国や県の動向などを踏まえ、毎年度見直しを行います。



第3章 東員町の目指す姿

1. 基本方針と個別施策

東員町デジタル化推進計画では、以下のとおり、6つの基本方針と各方針に基づく個別施策を掲げ、今後の取り組みの方向性を整理して取り組んでいきます。

基本方針	個別施策
基本方針1 便利で使いやすい行政サービス	1.マイナンバーカードの普及促進 ※
	2.行政手続きのオンライン化 ※
	3.窓口サービスのスマート化 ※
	4.公金のキャッシュレス化 ※
基本方針2 丁寧で行き届いた行政サービス	1.保育のデジタル化
	2.デジタルを活用した子育て支援
	3.データヘルスの推進
	4.防災・減災対策のデジタル化 ※
	5.教育のデジタル化
基本方針3 業務の生産性向上	1.リモートワークの推進
	2.ペーパーレス化の推進
	3.適切な勤怠管理・働き方の見える化
	4.AI・RPAの利用促進

基本方針	個別施策
基本方針4 わかりやすい情報発信	1.デジタルを活用した広聴広報の強化 ※
	2.オープンデータの利活用促進
	3.公開型GISの導入
基本方針5 デジタル活用環境の最適化	1.セキュリティ対策の徹底
	2.情報システムの標準化・共有化
	3.通信環境の強靭化
	4.ICT-BCPの整備
	5.デジタル人材の確保・育成
基本方針6 地域社会のデジタル化	1.デジタル・ディバイド対策
	2.公衆無線LAN (Wi-Fi) の整備
	3.地域産業のスマート化

基本方針 1 便利で使いやすい行政サービス

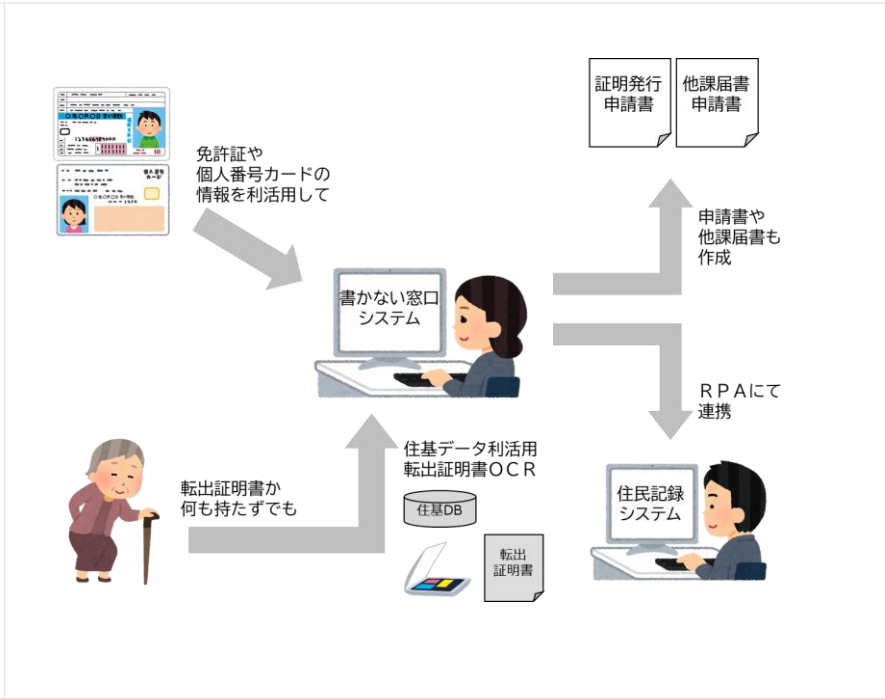
実施地域	三重県東員町	事業費	43,331千円
実施主体	三重県東員町、富士フィルムシステムサービス株式会社、三重データ通信株式会社、株式会社中部しんきんカード他	人口	25,923人
事業概要	本町は、近年人口が増加傾向にある一方で急速な高齢化が進んでいるが、来庁しての窓口での行政手続きによる住民の負担が大きく、感染症リスクも大きくなるため、全住民が享受可能な窓口、申請サービスを構築する事が急務である。そのため、書かない窓口システム、電子申請システム及びキャッシュレス・セミセルフレジの導入を行い、感染症対策、住民サービスの向上、滞在時間の短縮及び更なる業務効率化を図る。		

具体サービス

①書かない窓口システム
 ・転入者が記入する住民異動届をOCRで転出証明書などを読み取ることで、システム上で作成することができ転入者の負担が軽減される。
 ・転入に伴う、児童手当や子ども医療助成等の各種申請書にも反映することができ申請者の負担軽減と滞在時間の短縮になる。

②電子申請システム
 ・スマートフォンやパソコン等のインターネット上で、マイナンバーカードを活用したオンライン申請ができ、いつでもどこでも申請が可能となる。

③キャッシュレスシステム
 ・キャッシュレス決済端末により様々な決済サービスを利用者が選択できるようになる。
 ・自動釣銭機による正確、迅速なレジの提供



主なKPI

【アウトプット指標（活動指標）】

- ①引っ越しワンストップ及びOCR利用割合
- ②デジタル申請の利用件数
- ③キャッシュレス決済の利用比率

【アウトカム指標（成果指標）】

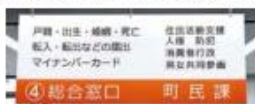
- ①最大待ち時間の減少
- ②転出届の窓口申請件数の減少
- ③窓口利用者の満足度

基本方針 1 便利で使いやすい行政サービス

【デジタルを活用した新窓口サービス導入事業】

総合窓口を中心としたサービス向上の取り組み

4月から、役場本庁舎の中心にある町民課に「総合窓口」を設置しました。総合窓口では、書かない窓口システムを導入し、住民異動（転入・転出・死亡・出生など）の一括手続きや諸証明の発行ができます。また、ロビー案内係（総合案内）を設置するなど、窓口業務の軸となっています。



1 書かない窓口システム

書く回数が減り、負担軽減、滞在時間の短縮

書かない窓口システムの特徴は、名前のとおり「書かない」ことです。来庁者は必要最低限の情報を記入するだけで、書くことの負担が軽減されます。

このシステムに対応している手続きは約30種類です。今まで、特に転入・転出・出生・死亡などの手続きのときは、さまざまな書類に何度も氏名や住所を書く必要がありましたが、対応している書類には全て住所などが印字されています。また、これまでは手続きごとに担当課の職員が入れ替わっていましたが、主な手続きは総合窓口の職員1人で対応できるため、人が入れ替わるストレスも軽減されました。



例えば、住民票を発行するときの記入箇所が

最大 **5箇所** → **1箇所** になりました

書く手間が省けていいね！



2 キッズスペース

お子さん連れの来庁者も負担なく手続きができる工夫

書かない窓口システムのおかげで、書類などを書く記載台が不要になりました。その空いたスペースにお子さんが遊べるキッズスペースを設けました。



待ち時間に子どもが遊べて助かるわ！



3 総合案内

役場に来たら、まずはお声がけください

総合窓口配置した総合案内では、来庁者のご用件などをお聞きします。総合窓口で手続きができるものについては、番号をお渡しします。担当課での手続きに関するものについては、担当課へご案内します。



総合案内は役場正面玄関入ってまっすぐ進んだ先です。

総合窓口ご案内の流れ



番号を受け取ってお待ちください。



お呼び出しは案内板と音声案内でご案内します。

右側はデジタルサイネージ。町のイベントやお知らせが流れています。



待っている人数も表示されるから、選んでいるの一目でわかる！



業務種別	現在のお持ち人数	最大のお持ち人数
総合案内	0	10
住民票	0	222
戸籍	0	10
出生	0	10
死亡	0	10
転入	0	10
転出	0	10
その他	0	10

案内板には待ち人数も表示されます。

4 セルフレジ

その場で支払いして完結！キャッシュレス決済も対応

住民票などを発行した時の手数料を総合窓口で支払いができるようになりました。

従来は支払いのために会計課まで移動していましたが、セルフレジの登場でその手間が省けました。

セルフレジは現金以外にも、クレジットカードや交通系ICカード、QRコード決済などのキャッシュレス決済にも対応しています。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



基本方針 2【4.防災・減災対策のデジタル化】

実施地域	三重県東員町全域	事業費	3,003千円
実施主体	三重県東員町、株式会社三重電子計算センター	人口	25,923人

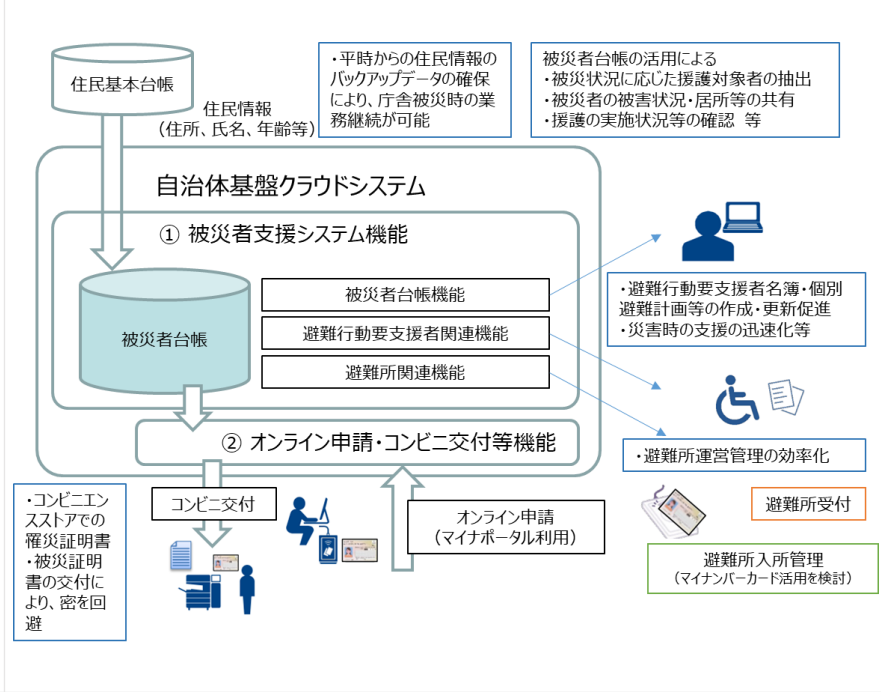
事業概要
 平時から災害時までの被災者支援業務の迅速化・効率化に寄与するための「クラウド型被災者支援システム」を構築する。住基情報をベースに被災者支援に関するデータを整備し、平時における避難行動要支援者名簿、個別避難計画の作成、また被災時における被災者台帳の整備、罹災証明書、被災証明書等のオンライン申請を可能とする仕組みを導入する。

クラウド型被災者支援システム

・被災者支援
 被災者台帳、避難行動要支援者関連情報を整備することにより、平時には避難訓練、見守り活動等に活かす。
 避難所情報の管理を行うことで、避難所における住民等の入退所管理を可能とする。

・オンライン申請・コンビニ交付等
 コンビニエンスストアでの罹災者証明書、被災証明書の交付により、密を回避する。
 また各種被災者支援手続きのオンライン申請にも対応し、住民が速やかに安定した生活を取り戻すための仕組みづくりを行う。

具体サービス



主な KPI

【アウトプット指標（活動指標）】

- ①避難行動要支援者名簿登録者数
- ②個別避難計画作成数
- ③見守り活動回数

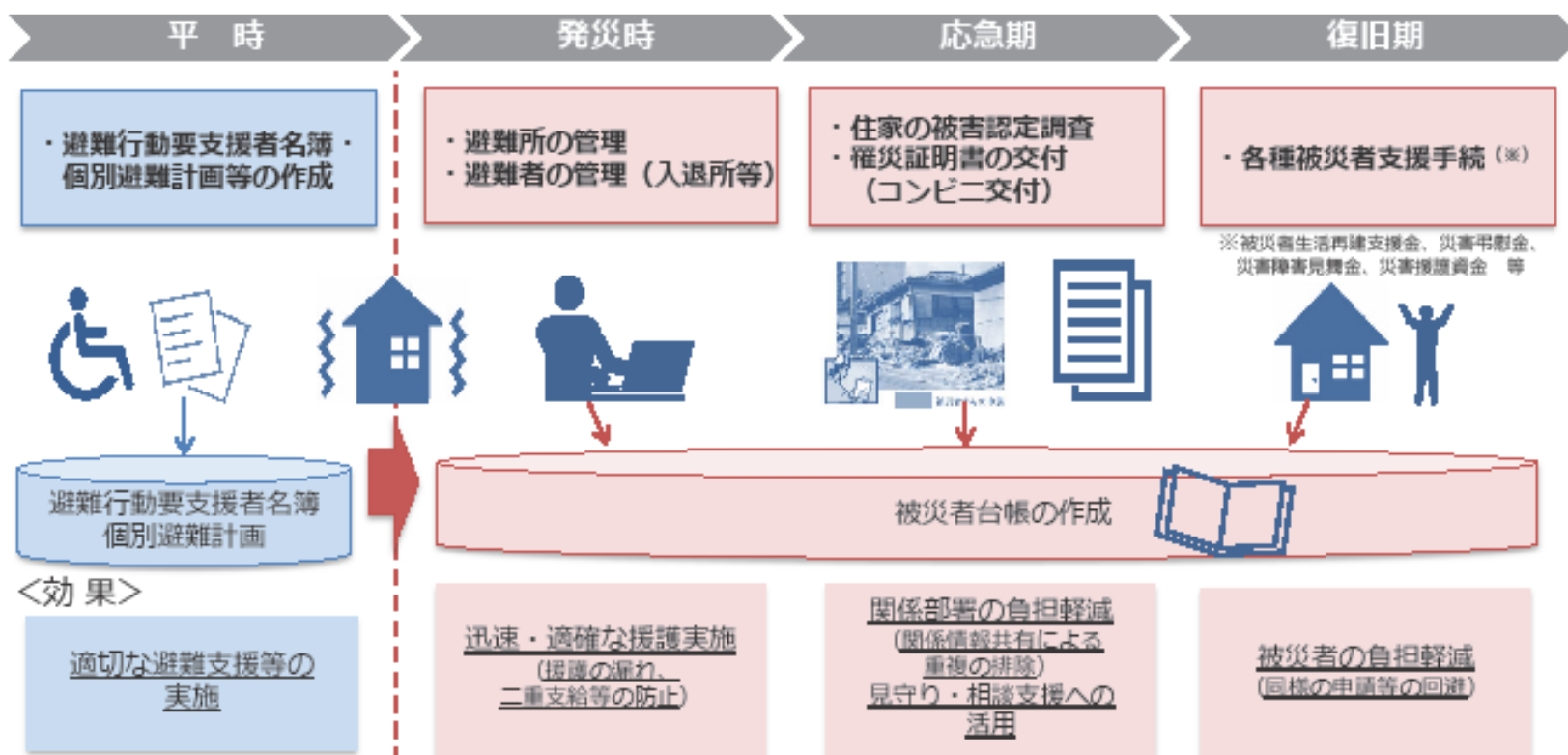
【アウトカム指標（成果指標）】

- ①災害関連死傷者数
- ②要支援者避難対策に対する満足度
- ③

基本方針 2【4.防災・減災対策のデジタル化】

クラウド型被災者支援システムの概要

平時から発災時・復旧期まで被災者支援業務を網羅的にカバーしたシステムになります。



基本方針 4【1. デジタルを活用した広聴広報の強化】

実施地域	三重県東員町全域	事業費	26,281千円
実施主体	三重県東員町、株式会社ラッキータウンテレビ、株式会社バッファロー他	人口	25,923人（11月末時点）
事業概要	<p>本町の観光資源である都市公園やスタジアム周辺を中心にデジタルサイネージを整備し、地域・行政情報を発信するとともに、ARアプリを活用して地域の魅力を楽しんでもらうためのデジタルサービスを提供する。</p>		
具体サービス	<p>①デジタルサイネージ 本町の観光資源である中部公園とスタジアム、本町の主要鉄道駅と役場庁舎にデジタルサイネージを整備し、来訪者に向けて地域・行政情報を提供する。</p> <p>②ARアプリ 中部公園散策やスタジアムでの観覧時において、AR等デジタル技術を活用し、アミューズメント要素を付加するアプリサービスを提供する。</p>	 <p>The illustration is divided into two parts. The top part shows a soccer stadium with a digital scoreboard and a person using a smartphone to view AR content. The bottom part shows a park with a fountain, playground, and a train station, with digital signage and a person using a smartphone to view AR content.</p>	
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デジタルサイネージの情報発信件数 ②ARアプリの利用回数 ③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①デジタルサイネージ利用者満足度 ②ARアプリ利用者満足度 ③ヴィアティン三重ホーム戦の平均観客者数</p> <p style="text-align: right;">20</p>	

【デジタルサイネージ等を活用した地域の魅力向上】



管理運営：ラッキータウンテレビ

表示形態：静止画・動画

場所：東員駅、西桑名駅、文化センター、
競技場、中部公園

